

1 救急医療の充実

(1) 救命救急センターの充実

○現状・問題点と対応

- ・ H 2 4 年度満床による救急車の受入制限
延実日数 約 1 5 9 日 延時間 2, 6 8 7 時間
- ・ 専門外の救急患者を担当（症状に応じ専門医と連携）
- ・ 医師、看護師の疲弊



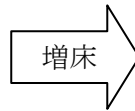
- ・ 受入れ制限のない救急
- ・ 内科系医師、外科系医師の配置により専門的な診療を実施（症状に応じ専門医と連携）
- ・ 医療の質の向上
- ※ 平成 2 5 年度中に一部体制を充実

○充実の方向

<病床>

20床（H25年度中に2病棟に増床・改編）

- ER 14床
- ICU（HCU）16床

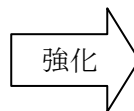


- ・ ER
- ・ ICU（HCU）

<診療体制>

・ ER外来

- 平日時間内 内科系医師 1 人
外科系医師 1 人
- 時間外 医師 1 人 研修医 2 人



- ・ ER病床 ER外来担当医師 1 人
- ・ ICU（HCU） 外科系医師、各主治医対応

ER部門とICU（HCU）部門を分離

- ・ 医師、看護師増
- ・ 両部門に兼任（専任）医師を配置
- ・ ER部門には内科系、外科系医師を各1人配置
- ・ 時間外は両部門で宿日直体制
- ・ 各診療科の応援は継続

1 救急医療の充実

(2) 脳卒中センターの整備

○現状・問題点と対応

- ・圏域内DPC対象病院患者数の約1/3を対象（DPC診断別分類シェア「神経系」）
- ・平成24年度tPA（血栓溶解治療法）の件数
中央病院：18件、鳥取生協病院：4件、鳥取赤十字病院：1件（他病院は電話聞取）
- ・平均在院日数は全国平均より長い
- ・脳卒中専用病床4床を整備
- ・神経内科医師3人のオンコール体制により対応

<東部保健医療圏医療計画 脳卒中対策から抜粋>

診断治療の充実

- t P A（血栓溶解治療法）
：24時間体制でできているとは必ずしも言えない。

目標

- ・24時間体制によるtPAの実施
- ・受け入れ体制の充実
- ・リハ等医療資源の集中投下による早期機能回復

○充実の方向

- ・脳卒中専用病床の増床
- ・医師、認定看護師、リハビリスタッフの増員
- ・専任スタッフの育成
- ・診断機能の向上
※ 平成25年度中 3テスラMRI新規整備

1 救急医療の充実

(3) 心臓センターの整備

○現状・問題点と対応

<ul style="list-style-type: none">・圏域内DPC対象病院患者数の約1/2を対象（DPC診断別分類シェア「循環器系」）・平成23年度急性心筋梗塞の件数（平成23年度DPC疾患別集計） 中央病院：59件、鳥取生協病院：11件、鳥取赤十字病院：34件 ※ 平成24年4月から翌年2月まで 中央病院82件 → 患者が集中傾向・重症心疾患専用病床4床を整備・心臓内科医師4人、心臓血管外科医師3人のオンコール体制により対応・患者の集中による医師の疲弊
＜東部保健医療圏医療計画 急性心筋梗塞対策から抜粋＞ 診断治療の充実 ○急性期対応医療機関、対応医が限られている。
⇒圏域内で心臓内科と心臓血管外科の診療体制が整っているのは中央病院のみ



<ul style="list-style-type: none">・医療の質の向上・24時間体制による対応・リハ等医療資源の集中投下による早期機能回復
--

○充実の方向

- ・重症心疾患専用病床の増床
- ・心臓関係診療科と専用病床の集約配置（専用病棟）による診療機能の充実
- ・医師、認定看護師、リハビリ等の専任スタッフの充実
- ・診断機能の向上
※ 平成25年2月 320列CT稼働

2 周産期医療体制の充実

(1) 周産期母子医療センターの充実

○現状・問題点と対応

< 新生児集中治療部門 >

- ・新生児集中治療室 NICU 6床、GCU 6床
- ・小児科医師 9人が2交代で常時対応
- ・入院が長引く児がいる

< 母体胎児集中治療部門 >

- ・MFICU 2床
- ・産婦人科医師 6人がオンコールにより 24時間体制

< 東部保健医療圏医療計画 周産期医療から抜粋 >

- 圏域内の産婦人科医師の平均年齢の上昇
- 東部圏域では妊娠 28 週未満の早産が予測される母体及び在胎週数が 28 週未満の早産児については、可能な限り総合周産期母子医療センター(鳥取大学医学部附属病院)に搬送している。
- 時に地域周産期母子医療センター(県立中央病院)のNICU病床数を超える新生児を収容する状況が生じる。

⇒中央病院の新生児集中治療室の稼働状況(平成 25 年 1 月から 3 月の 90 日間)

病床超過日数: 38 日 最大運用病床数: 17 床

目標

- ・受け入れ体制の充実
- ・特定症例を除き、圏域内で医療を完結
- ・認定看護師の育成により高度な看護を提供

○充実の方向

< 新生児集中治療部門 >

- ・NICU、GCUの増床
- ・医師、認定看護師、看護師などスタッフを充実

< 母体胎児集中治療部門 >

- ・MFICUの増床
- ・認定看護師、看護師増による看護体制の強化

< 産婦人科病棟 >

- ・産科と婦人科の病棟を分離